

報道関係者 各位

(公財)世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会

プレスリリース
WCRP日本委員会
声明文「G7広島サミットを振り返って」手交のため外務省を訪問
席上、第2回東京平和円卓会議への協力を要請



10月12日、WCRP日本委員会の代表者5人が外務省を訪れ、高村外務大臣政務官へ声明文を手交
左から牛尾理事、戸松理事長、高村外務大臣政務官、國富理事、安平和推進部長、矢萩特別会員 (©WCRP日本委員会)

世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会は10月12日、戸松義晴理事長ら代表者5人が東京・千代田区の外務省を訪れ、高村正大外務大臣政務官と会談し、声明文「G7広島サミットを振り返って」(別紙参照)を手渡しました。

また会談の席上、戸松理事長らは『戦争を超え、和解へ』諸宗教平和円卓会議「第2回東京平和円卓会議」の開催が来年2月に決定したことを伝え、外務省に対して協力の要請を行いました。

同委員会は、今年5月にG7広島サミットが行われることを受けて、同月10日広島で「宗教者による祈りとシンポジウム」を開催し、『G7サミットに向けた宗教者提言～「ヒロシマの心」が導く持続可能な平和をめざして～』と題する提言書を採択しました。提言書は、同サミット参加国の指導者に「ヒロシマの心」の具現を求めており、同月15日には岸田文雄首相にも手渡されました。

その後、同サミットが終了し、「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」が発表されたことを受け、同委員会は宗教者の視点からサミットに対する成果や課題をまとめた声明文を発表しました（9月13日第45回理事会）。

声明文では、「G7サミットが広島で開催され、7カ国首脳が原爆慰霊碑で祈りを捧げ、原爆資料館を見学し、被爆者の方々と対話を実現したことは、歴史的に意義深いことであった」と評価した一方、発表された同ビジョンで「核兵器廃絶への意志が全く見られず、むしろ核抑止論を正当化し、核兵器保有の維持を被爆地で認めてしまった」ことなどに対し、遺憾の意を表しました。

12日の会談では冒頭、戸松理事長から高村外務大臣政務官へ声明文を手渡しました。高村外務大臣政務官はこれに対し感謝の意を示し、「声明文をしっかりと受け止めたい」と述べました。そして、「第一に法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を守り、第二にグローバルサウスの国々をはじめとした国際的なパートナーへの関係強化に向けて積極的かつ具体的な貢献を打ち出していくことを確認した」と、サミット開催の成果を強調しました。その上で、「特に後者の点において、サミット前にいただいた提言書と軌を一にしており、今回の声明文においても評価をいただいたものと思っている」と見解を述べました。

また、会談ではロシアによるウクライナ侵攻についても話題にあがりました。昨年9月に同日本委員会と国際委員会が東京で開催した『『戦争を超え、和解へ』諸宗教平和円卓会議』第1回東京平和円卓会議について、出席者の日本入国などで外務省から便宜を図っていただいたと、戸松理事長らが謝意を表しました。そして、第2回東京平和円卓会議の開催が来年2月に決定したことを伝え、再度の協力の要請を行いました。

【外務省訪問者一覧】（※敬称略）

1. 戸松義晴（浄土宗心光院住職・WCRP日本委員会理事長）
2. 國富敬二（立正佼成会理事長・WCRP日本委員会理事）
3. 牛尾 淳（神社本庁教化広報部長・WCRP日本委員会理事）
4. 矢萩新一（日本聖公会管区事務所総主事・WCRP日本委員会特別会員
・ストップ！核依存タスクフォースメンバー）
5. 安 勝熙（WCRP日本委員会平和研究所研究員）

※写真データをご入力の方は、広報担当（三善）までご連絡ください。

世界宗教者平和会議（WCRP）について

WCRPは、1970（昭和45）年に39カ国から諸宗教の代表者約300人が集まり、京都で第1回大会を開催したのが始まり。諸宗教の連帯によって平和活動を推進する国際組織として、国連経済社会理事会（ECOSOC）の諮問資格を有し、1999（平成11）年からはNGOの最高資格である総合協議資格を取得しています。世界大会は当初から数年ごとに、欧州、米国、アフリカ、豪州、中東など世界各地で開催。現在、世界90カ国以上にネットワークを有し、諸宗教間の対話・協力活動という特徴を生かして紛争和解や軍縮、難民支援、開発援助、環境保護などの平和活動に取り組んでいます。

日本委員会は、1972（昭和47）年に日本宗教連盟の国際問題委員会を母体として発足し、2012（平成24）年4月より公益財団法人として活動を展開しています。

〔問い合わせ〕（公財）世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会

住所：東京都杉並区和田2-7-1 普門メディアセンター3階

TEL：03-3384-2337、FAX：03-3383-7993

広報：三善（TEL：080-2003-2031 mail：takeo.miyoshi@kosei-kai.or.jp）